

やまなし

2009.12.15

vol.7

no. 2

contents

- 2 | 図書館医学分館長に就任しての御挨拶
- 3 | 図書館特別企画 開催中
- 4 | 利用者の声
- 5 | 学生にすすめる本
- 6 | 山梨大学学術リポジトリHPをリニューアル
- 7 | 図書館トピックス
 - 「理科年表プレミアム利用講習会」を開催
講演会
 - 「ホスピスは何処へ行ったのでしょうか」を開催
- チャプレンの立場から -
 - 館内利用環境の整備中
- 8 | 今後のイベント紹介

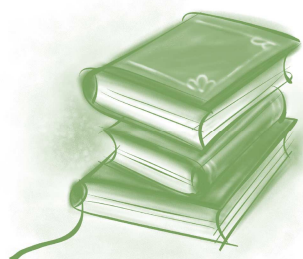
The Yamanashi
Bulletin of the University of Yamanashi Library

図書館医学分館長に就任しての御挨拶

附属図書館医学分館長 オオノ シンイチ
(医学部解剖学講座分子組織学教室) **大野 伸一**

本年(2009年)4月1日より、山梨大学附属図書館医学分館長に就任いたしました大野です。私が旧山梨医科大学に着任いたしましたのが、1992年5月ですので、約17年余りにわたり、図書館を利用させて頂いてきました。しかし本年4月からは、上記の医学分館の管理運営に責任者としての立場から対応してきております。

さて、すでに就任して6ヵ月余りが経過いたしました。この期間に私が対処いたしました図書館医学分館に関わる現状をお知らせして、御挨拶とさせていただきます。まず第一には、文科省の政策により、国立大学法人山梨大学全体の運営費交付金が本年度も減額されたために、医学分館も運営システム合理化や節約による必要経費削減をせざるをえない状況となっております。日常の図書館医学分館を運営するに必要な光熱水料や人件費などの合理化と削減には、どうしても限界があります。このような状況の中、本年度から、



従来の学生用図書推薦方式を見直して、より必要度の高い学生用図書を厳選して購入する方針を立てました。

さらに購入された図書の利用頻度を毎年チェックする体制も出来上がりました。学生諸君には、新しく購入された図書を大いに利用していただきたいと思います。また、大学

院生教育や基礎・臨床系教員の研究に必要な電子ジャーナル購入経費も、大変に厳しい状況にあります。文科省からの運営費交付金での充当が不十分であるのに加えて、電子ジャーナルの毎年の値上がり分に対応してはなりません。先日の教育研究評議会において電子ジャーナル用経費削減が決定され、一部の電子ジャーナルがカットされることになりました。このために来年度以降、大学院生と教員の研究環境はますます厳しくならざるをえません。医学部としては、各講座・教室より別途に電子ジャーナル経費の御負担をしていただいておりますが、その購入ジャーナルの見直しも含めて、さらに検討をしないではいけません。以上のように、一部の電子ジャーナルのカットと図書館運営経費の削減はありますが、図書館医学分館として本来の機能が、十分に果たせる対策を考えていくためにも、皆様のご意見をお寄せ下さい。

また、すでに御存知の教職員の方々、および学生もおられるかと思いますが、山梨大学において学術情報等発信の手段として「山梨大学学術リポジトリ」が、2009年6月1日より運用されております。これは、一般学術ジャーナル等に発表された論文内容を、さらにこのリポジトリを利用して公表することが、可能となるものです。先日の医学部での山梨医科学雑誌編集委員会において、この「山梨大学学術リポジトリ」を山梨大学の学術情報発信の手段として、もっと有効に利用することが議論されました。もちろん医学分

館運営委員会で、リポジトリ掲載の詳細が検討される必要がありますが、個々の研究者の発表論文が、山梨大学ホームページにおいて、全世界からアクセスが可能となります。これにより、山梨大学で行われた独創的な基礎医学及び臨床医学的研究成果が、リアルタイムで全世界に発信できるということになります。今後、山梨大学の一層の研究学術面の発展が期待できます。

以上、図書館医学分館長就任の御挨拶として、現状を御報告させていただきました。

今後とも、教職員および学生諸君の医学分館への御支援をお願い申し上げます。

(2009年11月末日)



図書館特別企画 開催中

附属図書館本館では、今年度新たな取組みとして『図書館特別企画』を開催しています。学生の方々に新しい趣味分野への興味を持ってもらうため、期間ごとに1つのテーマを設定し、関連した図書や小物などをまとめて展示する企画です。現在まで以下の4つのテーマを行いました。



- 第1回『本から広がる自転車の世界』
- 第2回『手づくりを楽しむ』
- 第3回『スポーツ：サッカー編』
- 第4回『おいしいごはん』 11月～

展示は、本館2階の特別展示コーナーで行っており、展示図書はすべて貸出可能です。過去のテーマ図書も同コーナーにありますので、ぜひご来館ください。

利用者の方々からは、「図書館イベントの文学的イメージが払拭された」という感想やテーマ展示の継続を望む意見も寄せられています。

今後は、『動物』『音楽』『舞台・芸能』『旅行』をテーマとして展示を行っていく予定です。他にも希望するテーマに関するご意見等ありましたら、どうぞお寄せください。



[医学分館]

医学分館では、1階カウンター前に、『新型インフルエンザ対策』に関する資料を集めたコーナーを特設しました。関連する図書で医学分館に入れてほしい本などがあつた場合は、ぜひ医学分館へお知らせください。本以外にも貸出可能なDVDもあります。どうぞご利用ください。



[本館]

知と智

工学部 パンノ イツキ
電気電子システム工学科 **坂野 齋**

私にとって図書館は安心して訪れることができる場所です。それは職員の優しい人間性によると思います。地味でお礼をいわれることも少ないであろう仕事に対する誠実さに、私は教えていただくことが多くあります。

専門書購入に際しては安い価格の代理店を探して下さり、学外文献複写も今まで間違いなく確実に届けていただいております。図書館経費で購読する学術雑誌は多数決のため少数派はあきらめるか研究費で購読します。少数意見の尊重という意味で一定の予算をとっておき、研究費での購入をのぞむ場合に援助するというのは如何でしょうか。また、定年退職された先生の本を必要な研究室に再配する機会があるとよいと思います。昔の本は販売利益より公益のために書かれた質の高いものが多いと思います。

かつて物理の専門書しか読まなかった私ですが、心・心理関連の本を読むことが多くなりました。ヘッセが登校拒否であって、最終的にそのプロセスが必要であったと考えていたこと（シッタールタ）、など身近な問題として考えさせられます。開架の鈴木大拙全集、井筒俊彦全集、閉架のスウェーデンボルグ全集も時間をつくって読もうと思っています。

山梨大学附属図書館は質・量ともに県を代表する図書館です。公益・地域貢献の観点から、大学が書庫増築の予算を手当して廃棄を少なくし、古いけれど智に満ちた本を多くの人に提供できるようにと願っております。



もっと利用したい図書館へ

ネモト カエ
医学部 医学科 2年 **根元 加恵**

医学分館には、2年生になり、専門分野の勉強が始まった今年の4月以来、大変お世話になっている。一番利用させていただいているのは、なんと言っても医学書である。テスト勉強や授業の提出レポートなど、自分で調べて勉強しなければならないとき、医学書の存在は大きい。1つの問題について、何冊もの本を比べながら、自分にとってわかりやすい本を選ぶ。最初は本探しにとっても時間がかかったけれども、最近ではだいたい本の陳列状態がわかって、時間がかからず探せるようになってきた。とっても充実している医学書だが、貸出冊数が3冊というのが、ちょっと少ない気がする。もう少し多く冊数を借りることができたら、と思う時が幾度かある。また、休日にも利用が可能であることも、図書館のいいところである。休日に本を借りることはできないけれども、ふらっと出かけて勉強したり、調べたりすることのできる空間である。

ただ1つ改善を検討していただきたい点がある。それは、空調管理の点だ。夏、炎天下の中、図書館で涼みながら勉強しようと思いき、行った図書館では冷房がついていなかった。扇風機は回っていたが、一部の人にしか風が行き届いておらず、私は図書館にいらも暑さと闘って、勉強することになった。確かに涼しすぎるのも問題はあると思うが、ある程度の空調管理をしていただけたら、学生の私たちにとって、図書館がもっと勉強のしやすい空間になるのではないかと思う。暑い暑い山梨の夏を乗り切るために、図書館をさらに快適な空間にしていきたいと強く願う。

『森本省念老師 上 語録篇』
『森本省念老師 下 回想篇』

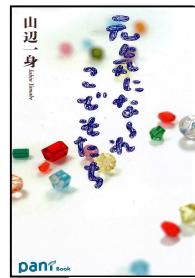


山田邦男 編
燈影撰書 27・28
燈園燈影舎

教育人間科学部 社会科教育講座 **今** **義博**

禅。ZEN。いまや国際化した禅だが、現代の禅者といえ、私はまっ先に久松真一居士と森本省念老師のお二人を挙げたい。お二人は京大で同期に西田幾多郎に哲学を学んで、ともに大禅匠となったが、生き方は好対照。久松先生は26歳のときに初めての臘八大接心（12月1日から8日明け方まで集中的に行われる坐禅修行）でいきなり見性した（悟った）天才。20世紀の維摩居士と称せられ、京大教授、宗教哲学者、茶人、書家としても歴史に名を刻む。他方、省念老師は京大を卒業後、就職もせず、14年間も浄土宗の寺で行者生活、43歳で出家して禅の道に入り、のちに請われて長岡禅塾の師家になったが、臨済宗の僧侶の階級としては最下位のまま、生涯、世間から隠れた。久松先生は大部の、省念老師はわずかな文章を残した。この2冊は老師のその文章と書簡、老師に関する回想録を収める。「久松さんの禅は馬鹿の一つおぼえや」と言えるのは省念老師のほかにはいない（これは抑下の托上。気をつけて読むべし）。老師は「わしは道端の小石も拌みます」ともおっしゃる。本書で老師の禅の世界と人となりを見ることが出来る。かつて京都・建仁寺の管長・竹田益州老師が阪急電車で大阪への行き帰りに、長岡天神駅を通過するたびに「あそこにはえらい老師が住んでおられますなあ」と言ったという。かの鈴木大拙も晩年、省念老師を最も尊敬した。『禅 森本省念の世界』（春秋社）もお薦めしたい。

『元気にな～れこどもたち』



山辺一身 著
水書坊

医学部 小児科学講座 **スギタ カンジ**
杉田 完爾

本書は、私と同様に国立大学医学部附属病院に勤務し、血液の難病である白血病を専門としている小児科医によって書かれた本である。小児の白血病の予後は、数十年前と比べると格段に向上し、80%の子供達の命が助かるようになってきているが、1年以上にわたる辛い治療に耐えなければならない。辛い治療を行っても、未だに天に召される命も多い。私は、医学生への講義の中で、『小児白血病は神の嫉妬病』であり、『君たちは神に嫉妬されなくてよかったね』と話しているが、白血病の子供達は賢く、健気で、明るく、お茶目で、いかにも神が嫉妬しそうな子供達であることが多い。そんな子供達との触れ合いの中で、著者の心に沸き上がった魂の叫びが、素直に吐露されている。また、経済至上主義的な考えから、小児医療は長年にわたって病院の不採算部門とされ、多くの病院で小児科が閉鎖されたり、小児科医が減員されてきているが、そんな過酷な勤務状況の中で、子供達の命を助けようと懸命に治療を行っている献身的な小児科医の姿が記述されている。

将来小児科医を目指そうと考えている医学生には、是非本書を読んでいただき、小児難病に取り組む医療の魅力とやりがいを体感してほしい。小児科医がonの時に気持ちよく頑張れるためにはoffをしっかりと取れる体制を確立することが重要であり、本大学の小児科学講座では、小児科を選択した心優しい医学生がヘルシーに小児医療を実践できる体制作りをすすめている。

所蔵案内

『森本省念老師 上 語録篇』	『元気にな～れこどもたち』
『森本省念老師 下 回想篇』	医学分館2階 第3閲覧室
本館2階 新着書架	分類：WS9/GEN
分類：188.82	



山梨大学学術リポジトリ ホームページをリニューアルしました

http://www.lib.yamanashi.ac.jp/repository/

平成21年10月1日に、「山梨大学学術リポジトリ」のホームページをリニューアルしました。

一覧（ブラウジング）

コンテンツ登録手順(学内研究者対象)

登録したい論文情報や画像、図表、動画などをJAIROに登録申請する。所蔵センターの担当者までご連絡ください。

- 1 公開したい論文情報や画像、図表、動画などをJAIROに登録申請する。
- 2 所属図書館にて登録までの作業
- 3 リポジトリ掲載 世界へ発信!

提供方法(例)

- 電子メール (図表や動画)
- USBメモリ (図表や動画)

登録先: お問い合わせ先

- コンテンツ提供: お問い合わせ先は、所属図書館です。
- 学内システム: 資料情報グループ 内線: 3903 appost@yamanashi.ac.jp
- 学外システム: 電子情報グループ 内線: 3100 appost@lib.yamanashi.ac.jp

一覧(ブラウジング)

- 資源タイプ
- 作成者
- 登録日

- P.M.Pour (1)
- AINOTA,T. (1)
- AKAHANE,Y. (1)
- AKAMATSU,N. (1)
- AKASU,F. (1)
- ANDERS Robert L. (1)
- ATKINSON,Ron (1)
- Abdul, Aziz Haji Arshad (1)
- Aiba, S (1)
- a, K. (1)
- a, Kosaku (8)

コンテンツ登録手順

詳細検索

詳細検索

検索 クリア 簡易検索

更新日: [] ~ []

表示順 出版年(降順)

山梨大学学術リポジトリ

山梨大学の学術リポジトリ

検索

リポジトリに登録されたコンテンツの検索ができます。キーワードを入力して、「検索」ボタンを押してください。

簡易検索 / Simple Search

10 件ずつ表示

検索 クリア

簡易検索

詳細検索 / Advanced Searchも可能です。

論文タイトル、論文著者名、掲載誌タイトル、キーワード等から検索が可能です。

お知らせ

- サイバーセキュリティ対策(2009.10.1)
- 平成21年6月1日 正式公開しました。(2009.6.1)
- 平成21年3月26日 試験公開しました。(2009.3.26)
- 平成20年度第3回附属図書館運営委員会で山梨大学学術リポジトリ

コンテンツ利用に関して

本リポジトリに登録されているコンテンツの著作権は、著者または出版社が保有し、ご利用は、著作権法に規定されている私的利用や引用などの範囲内で行っていただくものとさせていただきます。

本文PDF

このコンテンツへのアクセス件数が表示されます。

検索結果 12件

1. 短期交換留学生の大学生活についての意識調査 / 短期交換留学生は大学に何を求めているか / 長谷川千秋 / 奥村圭子 (16)
言葉の学び、文化の交流 / 山梨大学留学生センター研究紀要 Vol.3 page.2-31 (2008-03-21)
インタビューを通して山梨大学の交換留学生の留学生活の... [詳細]
2. 健康な女子大学生における生理的及び心理的側面に及ぼすタイムマッサーの効果 / 小泉友貴子 / 高田谷久美子 / 佐藤都也子 (66)
山梨大学看護学会誌 Vol.6 no.2 page.65-71 (2008)
タイムマッサーの生理的、及び心理的側面に及ぼす影響... [詳細]

短期交換留学生の大学生活についての意識調査

—短期交換留学生は大学に何を求めているか—

長谷川 千秋 / 奥村 圭子

要旨

インターローを巡っては山梨大学の交換留学生の大学生活についての意識調査の論文を掲載している。本論文は、短期交換留学生の大学生活についての意識調査の結果を報告している。調査の結果、短期留学生の日本文化体験を求めているという結果が得られた。また、短期留学生の生活環境や生活リズムに関する調査結果も報告されている。本論文は、短期留学生の生活環境や生活リズムに関する調査結果を報告している。本論文は、短期留学生の生活環境や生活リズムに関する調査結果を報告している。

本文へのリンク

http://www.lib.yamanashi.ac.jp/repository/

国立情報学研究所 提供

JAIRO ジャイロ

国内他大学・他機関のリポジトリを一括検索、本文表示できます。

JAIROで検索を行うと、

検索結果の表示

検索結果の表示

検索結果の表示

他の大学などのリポジトリも一緒に検索できます。

検索結果の表示

検索結果の表示

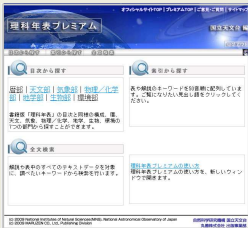
本文まで入手が可能です。(機関によっては、本文リンクがないこともあります。)

本文PDF表示

本文PDF表示

講習会 「理科年表プレミアム利用講習会」を開催

附属図書館では、平成21年11月18日に丸善出版事業部から講師を招き、2009年度から導入した「理科年表プレミアム」の講習会を実施しました。講習会は演習形式で、実際にパソコンに向かいながら、用意された例題にそって操作を学びました。最近では皆既日食や流星群といった気象にまつわる話題も多く、レポートや資料作成だけでなく、さまざまな活用が期待されます。甲府・医学部両キャンパスの参加人数は26名でした。



理科年表プレミアムとは

気象・物理・化学・環境等、科学の全分野を網羅したデータベースで、大正14年から最新年度までの理科年表のデータが収録されています。全ての表データがCSV形式でダウンロード出来ますので、保存データはさまざまな加工、編集が行えます。同時アクセス制限はありませんので、大学内であれば何時でもご利用になれます。

山梨大学附属図書館医学分館・生と死のコーナー関連行事

講演会 「ホスピスは何処へ行ったのでしょうか -チャプレンの立場から-」を開催



医学分館では、平成21年10月8日（木）に、山梨英和・韮崎英和・石和英和幼稚園園長、山梨英和大学講師の斎藤武氏を講師に迎え、「ホスピスは何処へ行ったのでしょうか -チャプレンの立場から-」を開催しました。

この講演会は、附属図書館医学分館常設「生と死のコーナー」の関連行事（平成21年度山梨大学附属図書館医学分館地域貢献事業）として実施されたもので、一般の方を含む約80名が聴講しました。長年、アメリカでチャプレン（学校・病院・軍隊・刑務所などで働く聖職者）としてがん病棟やホスピスに関わった経験をもつ同講師は、日本にホスピスを創設する準備に関わったこと、また、身体的な痛みをとることは手段であり、死の現実に向き合っていっしょに考えることが大切ではないかと約1時間半にわたって講演しました。終始、静かな口調で丁寧な話された内容に、参加者は真剣に聞き入っていました。

参加者からは、「ホスピスや緩和ケアについて、今日のお話をきくことでまた新しい視点で考えることができた」「緩和ケアの原点、ホスピスのなりたち、目的について今日始めて知ることができた」「患者さんの心、人生に寄りそえる医者になるように努力したい」といった感想が寄せられました。



館内利用環境の整備中です

附属図書館では、今年度、館内利用環境整備を種々行っています。

本館では、省エネ・資料の劣化の防止のため、南側窓ガラスの遮光処理を行いました。また、本館トイレ及び地階改修が始まりますのでよろしくご協力をお願いします。

医学分館では、防虫・換気のために、かねてより要望が多かった網戸設置を行いました。現在、医学分館の業務用エレベータを車椅子でも利用可能な利用者用エレベータへ改修工事を行っています。3月から利用可能予定です。



連続講座

平成21年度山梨県・山梨大学連携事業

「子どもと本を楽しむ・連続講座」(全5回)のご案内

この講座は「山梨県子ども読書活動推進実施計画」に基づき、また山梨大学の地域貢献事業の一環として、山梨県教育委員会と山梨大学の共同企画により行われるものです。

第5回は今年度最終回です。*事前にお申し込みが必要です。

第5回 シンポジウム「発達段階に応じた読書を考える(仮)」

日時: 平成22年1月27日(水) 午後2時~(終了予定4時)

場所: 山梨県立青少年センター

主催: 山梨県教育委員会・山梨大学附属図書館子ども図書室



お申し込み・お問い合わせ

山梨県教育委員会 社会教育課 社会教育振興担当

〒400-8504 甲府市丸の内一丁目6-1 TEL 055-223-1771 FAX 055-223-1775

Email: shakaikyo@pref.yamanashi.lg.jp

✿ 終了しました。ご参加ありがとうございました。

第2回 講座「声と表現のセミナー イメージを声にのせて」

日時: 7月30日(木) 午後2時~4時 / 講師: 宮崎 さなゑ 氏 (スタジオ・声と表現 主宰)

第3回 ワークショップ「読み聞かせと朗読」

日時: 8月20日(木) 午後2時~4時 / 講師: (読み聞かせ) 湯沢 朱実 氏 (朗読) 渡邊 昌恵 氏

第4回 講座「科学と読書」

日時: 11月19日(木) 午後2時~4時 / 講師: 池田 清彦 氏 (早稲田大学国際教養学院教授)

山梨大学附属図書館(本館) 近代文学文庫常設展示室の 展示入れ替えと関連行事のお知らせ

本館の常設展示室では「尾崎紅葉門下の四天王」をテーマとした展示を行っていますが、平成22年2月から「谷崎潤一郎」の作品に入れ替える予定で、準備を行っています。この展示の入れ替えに合わせ、今回も下記のとおり講演会を開催する予定です。皆様のご参加をお待ちします。



講師: 千葉 俊二氏 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

演題: 谷崎文学の魅力ー『痴人の愛』から『細雪』へー

日時: 平成22年2月27日(土) 午後2時~4時

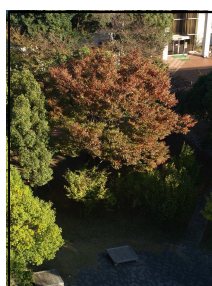
会場: 山梨大学総合研究棟1階Y-12教室

*講演後、展示の見学を予定しています。

◆イベント詳細については、ポスター・パンフレット・山梨大学附属図書館ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

学外の方への利用案内

本館及び医学分館は、山梨大学以外の大学生をはじめ一般の方々も利用できます。詳細については、<http://www.lib.yamanashi.ac.jp/>をご覧ください。か、本館 Tel:055-220-8066 (情報サービスグループ)、医学分館 Tel:055-273-9357(医学情報グループ)にお問い合わせください。



山梨大学附属図書館報
「やまなし」
第7巻第2号

2009年12月15日 発行

編集: 館報編集委員会

発行: 山梨大学附属図書館

〒400-8510

甲府市武田四丁目4-37

TEL 055-220-8063

● 表紙撮影: 図書課総務グループ職員 嶋 幸司
場 所: 山梨大学附属図書館 医学分館 (医学部キャンパス)